

1 株式会社融合技術開発センター**(9:00~9:25)**

迅速なeラーニングサイト構築のためのウェブベースの統合オーサリングシステムが開発されている。主要なオーサリング機能(Kumamoto Universal and Multipurpose Authoring :KUMA)はXML規格で記述された文書、画像および音声などのバイナリデータである音声付パワーポイント・ファイルからマルチメディア技術を駆使して、ストリーミング形式のeラーニングコンテンツに変換する機能を有する。このシステムを利用すると、情報技術に精通していないコンテンツ提供者でさえ、統合オーサリングシステムが配置されたサーバーへXML規格のパワーポイントをアップロードするだけで、容易に音声付eラーニングコンテンツを作成し、公開することができる。この統合オーサリングシステムの目的は、コンテンツ提供者の労力削減と手軽なeラーニングサイト構築、さらにラピッドeラーニングの普及・拡大に尽力することである。

2 カームコンピュータ株式会社(CIEC会員)**(9:35~10:00)**

Windows OS向けのセキュリティ対策に比べ、Macに対するセキュリティ対策は遅れており、ベンダーからの製品の提供もまだ十分ではありません。カームコンピュータではMac/Windowsの双方に対応した認証セキュリティ製品をご紹介させていただきます。Macにもセキュリティ対策を実施し、Windows/Mac混在環境でのセキュリティソリューションを提供致します。

3 株式会社TERADA. LENON(CIEC会員)**(10:10~10:35)**

教育現場からの要望を実現したレスポンスアナライザシステム

「国内の高等教育で要望されるレスポンスアナライザ」要件を反映し、「ひとりひとりのコミュニケーション」を実現するレスポンスアナライザとしてLENONシステムを開発した。Power Pointのアドインではなく、独立した装置として動作する。またLENONシステムではICカード学生証と連携して、誰が、どこに、いつからいつまで、着席したかが分かるので、その情報を基にした「なりすまし」ができない次世代型出席管理システムを構築できる。アンケート集計を目的として開発されたVoting装置と異なり、多肢選択回答(最大10選択)、連続設問(回答者のペースで最大50)、回答修正がペーパーテストで回答するような感覚で、ストレスが全くないオペレーションが実現できる。回答者がわかるので(氏名、属性、着席場所)、講師と受講者がアイコンタクトができ、真の双方向対話型授業を実現できる。

4 スキャネット株式会社(CIEC会員)**(10:45~11:10)**

小中高の先生方にアンケート集計方法をお伺いすると、まだまだ「正の字」で個数をカウントしておられる方が多いことに驚かされます。この「正の字式」の集計方法は、単に時間がかかるだけではなく、クロス集計などの集計方法にデータが活用できないという致命的なデメリットがあります。

本セッションでは、スキャナで読み取れるマークシート「スキャネットシート」と、無料ソフトウェアQA-Navi2をつかって簡単&お手軽&スピーディーにアンケートの単純集計やクロス集計をする手法をご紹介します。単にソフトウェアの機能をご紹介しますだけでなく、クロス集計がどのような場面で学校評価アンケートや授業評価アンケートでの報告書作成に役立つのかについて、具体的なアンケートの事例を交えながら説明致します。クロス集計って聞いたことあるけど何だっけ?という先生方も是非ご来場下さい!

5 株式会社ワークアカデミー noa 出版(CIEC会員)**(11:20~11:45)**

弊社では4年前から大学の情報リテラシー授業への教材として「考える 伝える 分かちあう 情報活用力」テキストと「情報活用力診断テストRasti」をご提案して参りました。情報活用のプロセス(情報収集・分析・整理、保管・表現・運用)を体系的に学べるテキストとして、操作中心の授業からICTを活用した問題解決力や思考力を養う発展的な授業への転換のきっかけとなり、PBLを取り入れた授業など多くの活用事例も出ております。

また、OECD 国際成人力調査(PIAAC)においても「ITを活用した問題解決力」分野の調査が2011年から始まるなど、情報活用力は、国際社会でも訴求されている能力と言え、注目を集めています。

そこで当セッションでは情報活用力育成の発展的授業事例や情報活用力診断テストRastiの活用事例をご紹介しますとともに、情報授業の枠を越えた人材育成のプログラム(仮説と検証のフレームワークトレーニング)のご提案をさせていただきます。

企業セッション要旨 8月7日(14:40-18:00) H会場(3階235)

司会:森 夏節(酪農学園大学)

(発表順)

6 株式会社数理システム

(14:40~15:05)

大阪府立大学では、「文部科学省 質の高い大学推進プログラム」の一環として「販売現場に密着した問題発掘型スタディーズ」という学習プログラムが実行されている。このプログラムの中では、実際に大阪府立大学生協同組合の店舗販売データ(POSデータ)を用いて、学生がデータ分析を行い、コンサルタントになったつもりで、より多くの販売を上げるための提案を行う。そして、授業では、学生によるプレゼンテーションが行われ、分析、提案内容、プレゼンテーションに対する評価が行われる。プログラムでは、売り場の観察も含めたデータ分析をする能力、チームで力を合わせ、スケジュールをたて、コミュニケーションをとりながら一つの業務を遂行する能力、聞き手を納得させる能力を養うことが目的とされている。分析には、数理システムのデータマイニングソフトVisual Mining Studioが使われ、学生が自由に分析に使える環境が構築されている。これら環境についてもご報告する。

7 株式会社ワイ・イー・シー(CIEC会員)

(15:15~15:40)

HDD-CLEARIIIはデータ消去用ソフトです。PC接続はUSBとCDによりライセンス管理され、データ消去を実行し、証明書も発行できます。DemiXG3020はハードツールです。2台のHDD単体のデータ消去が同時にでき、その履歴データをUSBメモリに格納できます。ハードディスク及びシリコンデバイスのデュプリケータ、消去、テストにも使用、マルチI/Fにも対応しています(ATA, SATA, SCSI, SAS, FC)。このハードツールはライセンスフリーです。これらツールは各官公庁等でも数多く使用されています。

8 日経BP社/日経BPマーケティング(CIEC会員)(15:50~16:15)

情報リテラシー/演習の教科書を、大学の授業に合わせた形で制作できます。

- ・情報分野の基礎知識(とくに最新動向)
- ・資料検索、レポート作成、プレゼンテーションなどのリテラシー
- ・Officeアプリケーションなどの操作演習

の分野について、素材の記事を用意しています。

これらから抜粋し、一部を個別事情に合わせてカスタマイズした教科書およびeラーニングを制作する方法を、何校かの事例とともにご紹介します。

9 株式会社内田洋行(CIEC会員)

(16:25~16:50)

大学では授業や実習でビデオを利用した振り返り学習が行われています。PF-NOTEは模擬授業やプレゼンテーションほか様々な実習時において、映像収録すると同時に教員や他の学生の意見をクリッカーで簡単に収集し、ひとめで簡単に振り返りが行える「新しい学習コミュニケーション」を提供します。

10 株式会社アルファシステムズ

(17:00~17:25)

パソコン運用システム「V-Boot」および授業支援システム「V-Class」のご紹介です。

V-BootはWindows/Linuxのデュアルブートに対応した当社開発の国産パソコン運用システムです。サーバやネットワーク等の障害に強く、少ないサーバで運用が可能です。また、高速なイメージ更新と、100MbpsのLAN環境や無線LANにも対応可能という特徴を持っています。

V-Classは、Windows/Linux/MACに対応した、当社開発の国産マルチOS対応授業支援システムです。ユーザーの声を聴き、PC画面転送や画面のロックなど、必要最小限の機能に絞り、低価格を実現しています。

11 パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社(17:35~18:00)

全世界でのスマートフォンの出荷数がPCの出荷数を超える中(IDC調べ)、教育機関においてもスマートフォンの利用が徐々に広がりつつあります。例えば、授業における資料配付・予習/復習ツールから、組織運営における会議、情報共有システムまで有効に活用される実例が増加しています。

本講では、いち早くこの領域に対してソリューションを提供し、現在ではiPad、iPhone向けの定番ソフトウェアとなった「Handbook」(ハンドブック)の最新版を事例とデモ満載でご紹介いたします。

多くのユーザーの要望を実現した「Handbook」で実現した、誰にでも使える高い利便性を提供する「Smart」、簡単な操作で効率的に情報やファイルの登録、配信を可能にする「Simple」、高度な運用管理、セキュリティを実現する「Secure」という「3つのS」が、教育機関におけるスマートフォン利用のスタイルを大きく変革します。